

救命処置の流れ(心肺蘇生とAEDの使用)



倒れている人発見!!

1 反応確認
肩をやさしくたたきながら大声で呼びかける。

↓ 反応なし

2 通報
大声で助けを求め、119番通報とAEDを依頼する。

↓

3 呼吸確認
胸の動きを見たり、普段どおり息があるか確認する。

↓ 呼吸なし

4 胸骨圧迫+人工呼吸

胸骨圧迫と人工呼吸を
30:2の比で行う。

↓

5 電源を入れる
AEDが到着したら、すぐ電源を入れる。

↓

6 電極パッドを貼る
パッドに描かれている絵の位置に直接貼り付ける。

↓

7 心電図の解析
自動で心電図の解析が始まります。周囲の人に傷病者から離れるよう指示します。

↓

8 電気ショックを行う
ショックが必要と判断されたら、ショックボタンを押して電気ショックを実行する。

↓

9 心肺蘇生を再開
心肺蘇生を再開し、AEDの指示に従って行う。

↓

10 救急隊が到着するまで繰り返す
救急隊が到着するまで、4～8までの手順を繰り返す。



119へ通報

- AEDを持って来てください!
- 人が倒れています!
- 誰かきてください!

呼吸あり

様子を見ながら
応援・救急隊を待つ

電気ショックを行う

ショックが必要と判断されたら、ショックボタンを押して電気ショックを実行する。

電気ショック
必要なし

心電図の解析

自動で心電図の解析が始まります。周囲の人に傷病者から離れるよう指示します。



実体験インタビュー



浦添商業高校
宮里 清 教諭

今年の1月、宮里教諭ほか6人の連携で授業中に倒れた生徒の命が救われました。

助けられる命があるなら躊躇せずに行動を

生徒に呼ばれて玄関から外を見ると、人だかりができていて嫌な予感がしました。かけつけると生徒が倒れていて、血の気がなく、息もしていませんでした。助かる可能性は時間が経つほどなくなっていくので、講習を受けて知っていたので、助かってほしいという一心で、急いでAEDの使用を開始しました。電気ショックを行うと数秒で反応があり、顔に血色が戻ってきました。救急隊が駆けつけた頃には呼吸もしっかりしていたと思います。卒業式の時、救助した生徒が両親といる姿を見て、助かって本当によかったと思いました。

救急車の手配、AEDの操作、心肺蘇生など、救助を行った先生と生徒がそれぞれの役割を適切に素早く実践できた事が今回の結果につながったと思います。いろいろな場所でも助かりそうなのに助からない事例が多く、自分の身近では起こしたくない。いざなにかあった時にみんなが助け合つために、救命講習を受けることはとても大切な事だと感じました。



特集 あなたにもできる!

救急救命

目の前で突然人が倒れたらあなたはどのような行動をとりますか? 心臓が停止した場合、救命率は1分で10%ずつ低下します。平均8分以上かかる救急車を待っている間は助かる命も助かりません。救急車が来るまでの間に、居合わせた人が「応急手当」を行えば、傷病者の生存率や社会復帰の可能性を高めることができます。

AEDの使用率は5%未満

日本では、年間12万人の突然死があり、そのうち心臓突然死が約7万5千人、つまり一日に約2000人の人が心臓突然死で亡くなっています。突然の心臓停止で倒れた人を救うためには、迅速な119番通報とAEDの手配、心肺蘇生とAEDなどを使用しての電気ショックが必要となります。これらの応急手当は、現場に居合わせた人によって行われることが期待されています。

平成16年に一般市民にAEDの使用が認められてから、心肺蘇生を受ける人やAEDで電気ショックを受ける人の数は年々増加しています。AEDを正しく使用した場合、1か月後の生存率は53.3%で(心肺蘇生のみでは16.4%)、これは119番通報のみを行った場合の9.3%と比べると約6倍となつています。ところが、心停止を目撃された人のうち、実際にAEDが使用されるのは全体の4.7%に留まっています。

その場にいるあなたに知識があれば、AEDが近くにあっても活用することができません。命を救う場面に遭遇したとき、あなたは躊躇せずに行動を起こすことができますか? その時に備えてあなたにもできる救急救命を実践してみませんか。

【参考】総務省消防庁平成29年度版救急救命の現状

毎月第3土曜日開催 救急救命講習会

定員 30人(浦添市在住・在勤の人優先)

場所 消防本部2階講堂

内容 入門・普通・上級編

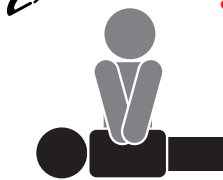
成人・小児・乳児に行う心肺蘇生法(AED含む)、外傷の処置、止血法、異物除去法、患者搬送など

受講料
無料

申し込み・問い合わせ 浦添市消防本部 ☎(875)0105 ※電話受付のみ
※広報うらそえ「ちむどん施設情報」にも掲載しています。

AED使用で助かる確率 53.3%

2人に1人助かる!



119番通報のみの場合と比べて約6倍の人の命が救えます。しかし、AED使用率はたった4.7%。AEDを使用することが当たり前の世の中になってほしいと思います。



AEDは学校などの公共機関や病院などの医療機関などに設置されています。急な場面でも慌てないように自宅周辺やよく行く場所の周りをチェックしておきましょう!